

県政の動き

8月21日(木)～10月20日(月)

★は写真入りで紹介

8月29日(金)

高病原性インフルエンザ防疫演習

9月1日(月)

平成20年度防災啓発研修会

9月1日(月)～6日(土)

★第16回鹿児島・香港交流会議および江蘇省訪問

9月5日(金)

★ドクターバンクかごしま開設式

9月6日(土)～10月17日(金)

黎明館企画特別展「天璋院篤姫展」

9月7日(日)

世話やきキュービッド委嘱状交付式および研修会

9月7日(日)

自殺予防シンポジウムIN鹿児島

9月9日(火)

薩摩焼バリ伝統美展国内巡回展 大阪展開会式

9月10日(水)

★宮下純一選手が知事表敬訪問

9月11日(木)

★鹿児島都市圏工口通勤推進会議

9月12日(金)

県くらし安全・安心県民大会

9月21日(日)

第6回「森林ボランティアの日」森林整備活動

9月23日(火)

県かん緩和ケア・地域医療連携体制推進シンポジウム

9月26日(金)～10月1日(水)

★鹿児島・全羅北道高校生文化交流フレンドシップ事業

10月3日(金)～4日(土)

★「マリネットかごしま」オープン一周年

10月8日(水)

★焼酎応援イベント

10月15日(水)～16日(木)

「キハレ鹿児島」の焼酎「風評被害を吹きとばせ」

★さんふらわあ利用促進ミッション派遣および知事と若手経済人(大隅地域)との意見交換会

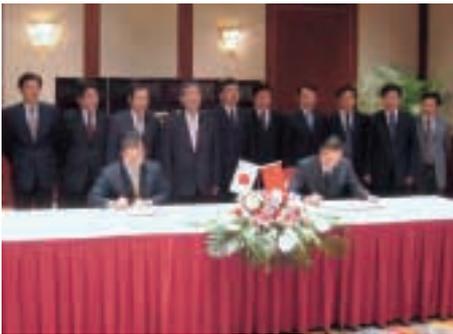
10月16日(木)

第21回「全国なぎさシンポジウムin鹿児島」

9月1日(月)～6日(土)

第16回鹿児島・香港交流会議 および江蘇省訪問

第16回鹿児島・香港交流会議を9月3日に香港で開催した。会議では、知事、県議会議長、香港政府関係者などが、今後の交流促進や鹿児島・香港直行便などを活用した観光交流の促進などについて意見交換を行うとともに、知事主催レセプションや商談会、観光セールス、ポートセールスなどにより、鹿児島の魅力を広くアピールした。



また、本年は鹿児島県・江蘇省交流協議会10周年にあたることから、両省県のさらなる交流促進を図るため、知事、県議会議長などが同月江蘇省を訪問し、「友好交流の促進に関する協議書」に調印した。

9月5日(金)

ドクターバンクかごしま開設式

県では、本県における地域医療の確保・充実を図ることを目的に、県内での就業を希望する医師の積極的な募集活動や、医療機関へのあつせん、女性医師の復職支援などを行う「ドクターバンクかごしま」を本庁医療制度改革推進室に開設した。



本県の医師不足は深刻な状況であることから、「ドクターバンクかごしま」では積極的な医師募集活動を展開し、県外在住医師などのU・I・Jタンの促進に取り組むこととしている。



9月10日(水)

宮下純一選手が知事表敬訪問

鹿児島市出身で、北京オリンピックの競泳男子400mメドレーリレーで、銅メダルを獲得、100m背泳ぎでも八位入賞を果たした宮下純一選手が、知事を表敬訪問した。

宮下選手から銅メダル獲得の報告を受けた知事は、「本当におめでとう」と祝福した。また宮下選手は、知事から、10月25日に鴨池陸上競技場で行われる「ねりんピック 鹿児島2008」の総開会式の炬火の点火を依頼され、快諾した。



県では、今後も本県のスポーツ選手が、オリンピックなどの国際大会や国民体育大会をはじめとする各種の全国大会において、活躍できるような競技力の向上を図ることとする。

9月11日(木)

鹿児島都市圏エコ通勤推進会議

県では関係団体と協働で「エコ通勤」の推進に取り組んでいる。9月11日には、知事が会長を務める「鹿児島都市圏エコ通勤推進会議」を開催し、昨年度の社会実験において参加者一人当たりCO₂排出量を8%削減できたことから、今年度より毎週水曜日を「ノーマイカーデー」とし、本格的に取り組んでいくことが決定された。今年度は100社、2000人の参加を目指



しており、全通勤バス路線に系統番号を付与した上で、方面別バスマップを新たに作成・配付しているほか、参加者への各種特典を設け11月末までの重点取組期間内に、専用ホームページからの参加登録を呼びかけている。

10月2日には伊藤知事も鹿児島市荒田の知事公舎から県庁まで自転車通勤し、エコ通勤をPRした。

9月26日(金)～10月1日(水)

鹿児島・全羅北道高校生文化交流フレンドシップ事業

日韓両政府が進める「日韓交流おまつり中学生交流プロジェクト」の一環として、神村学園鼓舞道部が韓国を訪問した。

ソウルで開催された「日韓交流おまつり2008 in Seoul」に日本側26団体の鹿児島県代表として参加したほか、鹿児島県と友好関係にある全羅北道で開催された「全州世界ソリ祝祭」にも



参加した。太鼓や木剣、傘などを使った鼓舞道は、韓国の方にも大いに好評を博した。

また、全州市の湖南第一高等学校への学校訪問やホームステイを通じて多くの交流を行い、相互理解を深めた。来年2月には同校生徒が来鹿し、さらに相互交流を深めることとする。

10月3日(金)～4日(土)

「マリンポートかごしま」 オープン一周年

昨年9月にオープンした鹿児島港中央港区の「マリンポートかごしま」が、一周年を迎え、10月3日の大型観光船「ダイヤモンド・プリンセス」(11万6000トン)の寄港に合わせ、記念式典が開催された。



記念式典では、知事がこの一年を振り返り挨拶を述べた後、ニコロ・ベネティ船長らとともに、くす玉を割った。

このほか、宇宿幼稚園園児によるダンスや、神村学園高等部吹奏楽部によるマーチング演奏も行われ、訪れていた県民や乗船客からも盛大な拍手を受けた。

また、3日から4日には、ベイサイドカフェやフリーマーケットなどの各種イベントも開催され、家族連れなど多くの県民や観光客でにぎわった。

10月8日(水)

焼酎応援イベント 「キバレ鹿児島島の焼酎 〜風評被害を吹きとばせ〜」

事故米穀の不正流通問題により、商品の自主回収や風評被害など、大きなダメージを受けた本格焼酎を応援しようと、知事や県議会議長をはじめとする



「焼酎を愛する有志の会」が発足し、焼酎応援イベントが開催された。

当日は、西酒造、西平本家、喜界島酒造の三蔵元を囲み、約180人の有志が集った。世界に誇る鹿児島の本格焼酎をこれまで以上に愛飲し、鹿児島の本格焼酎の素晴らしさを全国に向けてさらにPRしていくことを誓い合った。



10月15日(水)～16日(木)

さんふらわあ利用促進ミッション派遣 および知事と若手経済人(大隅地域) との意見交換会

本県の長距離物流の基幹ルートとして、さらに本県と大阪方面とを直接つなぐ観光ルートとして、欠くことのできない役割を果たしている志布志・大阪航路について、双方向での旅客面の利用促進を図るため、知事を団長とする「さんふらわあ利用促進ミッション」約60人がさんふらわあに乗り込み、関西へ向けて出発した。

ミッションに併せて、船上では「知事と若手経済人(大隅地域)との意見交換会」が開催され、「大隅ー新たな未来への挑戦」をテーマに、大隅地域のさまざまな分野で活躍している若手経済人19人が、大隅半島の地域資源を活かした農林水産業や観光の振興策などについて、知事と熱心に意見交換した。



到着後は運航事業者や関西地区の旅行業協会の代表を訪ね、今後の利用促進策のあり方について意見交換を行うとともに、旅行業者各社を対象とした観光セミナーを開催し、志布志・大阪航路を活用した旅行商品の新たな販売支援策などについてトップセールスを行った。